

七夕飾りに「ずんだ」「こけし」

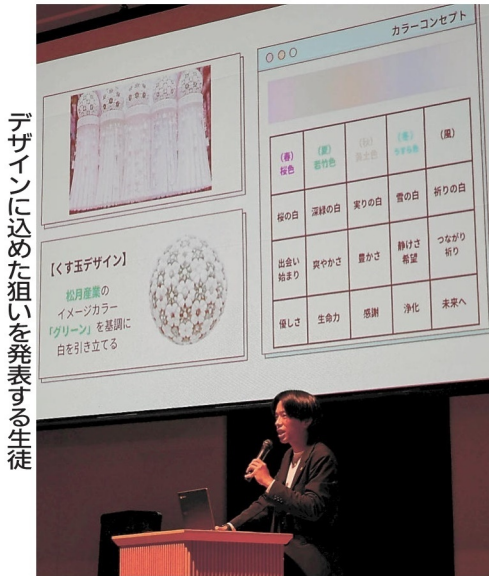
東北学院高7組デザイン競う

仙台七夕まつり（8月6～8日）に向けて、東北学院高（仙台市宮城野区）の生徒による七夕飾りのデザイン発表会があった。地元企業が毎年、市内の高校な

どに考案を依頼しており、同校は今回が初参加。生徒らは若者らしい自由なアイデアを披露した。

発表会は25日であり、2、3年生の計7チーム30人が

参加。くす玉を仙台名物のずんだ色にしたり、白を基調としたデザインで日本の伝統的な美意識を表現したりした。各チームは生成人工知能（AI）を活用した



デザインに込めた狙いを発表する生徒



生徒が生成AIを使って作成したデザイン

飾りのイメージ画像も用意し、出来栄を競った。

3年の三浦陽貴さん（17）はこけしをデザインに採用した。「1カ月前から準備をしてきた。作並や遠刈田で有名なこけしを取り入れることができた」と手応えを語った。

市内でビジネスホテルを展開する松月産業（青葉区）が立案、ターゲット設定などビジネスの基本を学んでもらおうと企画。各校で選ばれた計5セットのデザインを基に、鳴海屋紙商事（若林区）が制作を担う。

常磐木学園高、聖和学園高、東北電子専門学校でも選考会を実施。過去最多の4校計103チーム434名が参加する。

（今立樹）